



4月:新入生369名を迎え、1102名で新学期がスタートした。新入生にとっては、入学早々体育大会の準備に追われる。体育のオリエンテーションもそこそこに、体育大会の練習が始まった。特別時間割の中、忙しい毎日を送る。新年度早々に大きな行事があると、学校生活が落ち着かないというところもあると聞かすが、本校にいたってはまったく心配がなかった。授業と行事への取組との切り替えがしっかりできていた。これも伝統だろう。

5月:「がんばれいわ熊商」を大会スローガンに体育大会が行われる。今年の大会は、5月の10連休を挟み、準備もタイトなスケジュールの中で行われた。しかし、生徒会を中心に、少ない準備期間ながら、中身のある楽しめる内容で、多くの観客が感動し盛り上がった。



1年男子による集団行動

何より感心したのは、すべての競技に手を抜かず、全力で競技する生徒諸君の頑張りであった。高校生活が始まったばかりの1年男子が、高度な技術を披露した集団行動。勇壮な2・3年男子の組み体操、優雅に舞った1年女子の華の舞。観客もついつい踊ってしまう2・3年女子によるダンス。どれを取っても短期間でよくぞここまでという出来栄であった。大会運営も招集や誘導などで時間がかかると、大会運営に大きなロスとなる。自分たちの役割を綿密な計画で分担し、的確な指示を出し、常に走り回っていた生徒会、各係のメンバーにも拍手を送りたい。

6月:高校スポーツの祭典、全国高等学校総合体育大会熊本県予選が行われた。スポーツの伝統校として名高い本校であるが、その名に恥じない活躍であった。女子陸上部は県内無敵の総合3連覇。そして、今年は弓道女子で橋田実空さんが見事個人優勝し、女子ソフトテニスで、本田萌子・長田明子組が個人戦で4位に入り、見事インターハイ出場を決めた。その他、あと一步で優勝を逃した女子バスケットボール部とソフトボール部が準優勝。サッカー部、テニス女子団体がベスト4、バレーボール部がベスト8という結果だった。3年生にとっては最後の総体。3年間のいろいろな思いを胸に戦ったことだろう。仲間と分かち合った感動、挫折



に苦しんだ日々、何くそと仲間と奮起したあの日、チームで学んだ協調性、そのすべてが無形の財産である。福島教育実習生が3週間実習を行った。若さあふれる情熱で生徒諸君とともに頑張ってくれた。OBの頑張っている姿は、現役の生徒諸君にも大いに刺激となった。



サッカー全校応援

7月:夏の高校野球熊本県予選が始まる。本校は初戦をコールド勝ちで見事突破。2回戦で強豪城北高校と戦った。初回1点を先制し幸先良いスタートを切ったが、逆転を許し、後半の追い上げるも3-7で惜敗した。野球部のあまりにも早すぎる夏が終わった。しかし、多くの生徒が応援に駆け付け、球児の夏を共に戦った。

## ～雑感～

いつも思う。本校の生徒諸君の体育への授業の取組は本当に感心する。まず始業時間に遅れる人はいない。というより、予鈴ですでに整列している。あの離れたプールでも同じである。ランニング、体操、補強運動と他の学校に比べれば内容的にはハードであるが、たったの10分で終わる。もちろんその分活動時間が長くなる。楽しく、にぎやかに、そして真面目に取り組んでくれる。欠席もほとんどない。水泳の授業でも500mを難なく泳ぐ。しかも与えられた時間より早く。体力向上優良校の表彰を4年連続で受けるのも当然である。そして、今年は熊本県学校体育優良校にも選ばれた。体育の授業を生徒諸君が楽しんでくれればよい。友達とワイワイやってくれればよい。スポーツのもともとの語源は「遊び」である。体育科職員も、今後も、生徒諸君が活発に活動でき、楽しくスポーツに親しむことができる場を提供したい。